

令和4年度 福島市中心市街地活性化協議会 事業報告

1. 会議等の開催

(1) 協議会・運営会議の開催

開催日	内 容	
令和4年 4月26日	第38回運営会議	
	報 告	(1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画 第1回変更認定について
	議 題	(1) 令和3年度事業報告および収支決算について (2) 令和4年度事業計画(案)および収支予算(案)について (3) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の令和3年度フォローアップ報告について (4) 令和4年度福島市中心市街地活性化協議会(総会)の開催について (5) その他
令和4年 4月27日	第28回協議会(書面審議)	
	議 題	(1) 認定基本計画の定期フォローアップ報告について
令和4年 6月20日	第29回協議会	
	報 告	(1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の第1回変更認定について (2) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の令和3年度定期フォローアップ報告について (3) 最近の中心市街地の動きについて
	議 題	(1) 令和3年度事業報告について (2) 令和4年度事業計画(案)について
	説 明	「福島駅東口地区第一種市街地再開発事業について」 説明者 福島駅東口地区市街地再開発組合 理事長 加藤真司 氏
	第39回運営会議	
令和4年 12月19日	議 題	(1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の第2回変更概要について (2) 今後のスケジュールについて
	第30回協議会(書面審議)	
令和4年 12月21日	議 題	(1) 認定基本計画の計画変更(第2回)に関する内閣府への変更認定申請について

(2) 分科会

「福島駅東口エリアまちづくり研究会(勉強会)」の開催

令和8年度にグランドオープン予定の商業・ホテル・オフィス・駐車場・コンベンション機能を兼ね備えた多目的ホールから構成される複合施設は、中心市街地の都市機能の向上、賑わいの創出、交流人口の拡大など福島駅東口エリア全体の活性化に資することが期待される。しかし、この事業効果を高めるには、まちなか全体のハード、ソフト両面での総合的なまちづくりを今から進めることが不可欠であるため、本研究会(勉強会)を設置し、エリア全体のまちづくりについて調査・研究することを目的とした情報共有と意見交換を行った。

【メンバー】 若手商業者、福島市、福島まちづくりセンター、福島商工会議所

開催日	内 容	
令和4年 11月25日 (第1回)	情報共有	(1) 第3期福島市中心市街地活性化基本計画の概要について (2) 自己紹介および各自の取り組み事業の紹介 (3) 現在の取組みにおける課題等の意見交換 (4) 今後のスケジュール
令和4年 12月23日 (第2回)	ゲスト スピーチ	街づくりの目線をもって事業を行う若手商業者数名をゲストとして招き、 これからのまちづくりへの考えなどをお話いただき、メンバーとの率直な 意見交換を行った。 (1) 取り組んでいる事業について (2) これからのまちづくりへの期待 (3) 駅前再開発について
	意見交換	(1) これからのまちづくりについて (2) 駅前再開発との連携について
令和5年 2月21日 (第3回)	説 明 ・ 意見交換	【説明者】野村不動産コマース(株) 企画開発三部 部長 野村 浩 氏他 (1) 福島駅周辺回遊性向上策について (2) エリアマネジメントについて
令和5年 3月24日 (第4回)	議 題	(1) これまでの勉強会を踏まえた着目点と今後の課題について (2) 今後の進め方について

2. 意見の提出

開催日	内 容
令和4年 5月16日	中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する協議会意見を提出 ※提出先 福島市長 木幡 浩 氏
令和5年 1月10日	中心市街地活性化基本計画の第2回変更に対する協議会意見を提出 ※提出先 福島市長 木幡 浩 氏

3. 事業の実施

(1) 講演会の開催

開催日	内 容
令和5年 3月20日	「空き不動産問題から考える地方都市再生」 福島市の中心部では、新型コロナウイルス感染症による新たな生活スタイルの浸透や地震による建物の耐震性の問題、地方都市の事業採算性などにより閉店した店舗や駐車場が目立っていることを踏まえ、今後の中心市街地の在り方を考えることを目的に開催。数値化した福島市の現状を客観的に見つけ、地方中心市街地の在り方について深く考える機会となった。 ●講 師：箸本 健二 氏 早稲田大学 教育・総合科学学術院長 ●会 場：コラッセふくしま4階多目的ホール ●参加数：99名



(2) 無料貸し傘サービス事業の実施

実施日	内 容
令和4年 4月1日～	無料貸し傘サービス事業「ももりん貸し傘サービス事業」 福島駅前通りリニューアルによるアーケード撤去に伴う歩行者の利便性確保と大原総合病院移転開院による福島駅から大原総合病院の区間（古関裕而ストリート）の回遊性向上を目的に実施。 (1)設置場所 1. JR 福島駅東口（観光案内所前） 2. 福島県立医科大学保健科学部 3. AXCビル（1階しどやおや） 4. ウィズもとまち（1階） 5. チェンバおおまち（1階） 6. 大原総合病院 7. こむこむ (2)設置本数 230本



3. 賑わい創出事業への支援(福島駅前から駅前通り商店街および周辺商店街の活性化に関する事業)

(1) 福島駅前元気プロジェクト関係

「地元から地元の皆で街を元気に」を合言葉に街を元気にするフェスを福島駅前通りと駅前広場で季節ごとに開催。手づくり品や菓子類を販売する「手づくりマルシェ」や果物・野菜の生産者直売ブース「GoodDayMarket」、広域連携を目的とした相馬市・米沢市のブースでまちのにぎわいを創出。

- ①2022. 4. 3 「Fukushima ハルフェス in えきまえ 2022」
- ②2022. 7. 17 「Fukushima ナツフェス in えきまえ 2022」
- ③2022. 10. 2 「Fukushima アキフェス in えきまえ 2022」
- ④2022. 12. 2 「Fukushima フユフェス in えきまえ 2022」



写真：ハルフェス

(2) 大学生・高校生の街なかでのイベント開催支援

これからのまちづくりにおいて若者の参画が期待されるなか、若者が中心市街地の駅前通り、まちなか広場、パセオ 470 および周辺地区で行おうとするイベントに対して、イベントの企画立案、会場選定、収支計画、広報、運営費等に関し、学生が求める相談支援を福島市、福島まちづくりセンター、福島商工会議所と連携して行った。

支援イベント数 7件
(福島大学、福島学院大学、橘高校、福島西高他)



福島商工会議所
相談窓口案内チラシ



福島まちづくりセンター
街なか若者活動促進事業チラシ

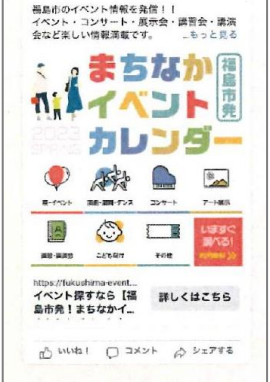
(3) 「まちなかイベントカレンダー」(ホームページ)による街なか情報の発信

市内中心部で開催される各種イベント情報を収集し、まちなかの賑わい創出を目的にインターネット（公式ホームページ・スマートフォンサイト）で一括した情報発信を行い、本年度は街なかへの集客に向けた SNS 広告も実施。

① ホームページ (<https://fukushima-event.com>)

- ・ イベント掲載件数 250 件
- ・ アクセス者数 60,134 人
- ・ アクセス件数 78,277 件

② SNS 広告

広告掲載期間	令和 5 年 3 月 29 日（水）～令和 5 年 4 月 30 日（日） 計 33 日間/毎日配信	
広告配信先	Facebook、Instagram 他	
広告配信エリア	(福島県内) 福島市、桑折町、国見町、伊達市、川俣町 飯館村、二本松市、大玉村、本宮市、三春町 郡山市、須賀川市、猪苗代町、相馬市、南相馬市 (宮城県内) 丸森町、山元町、角田市、白石市 (山形県) 米沢市、高畠町、南陽市、上山市	
広告配信対象	18 歳以上でイベント、音楽、コンサート、ダンス、ライブ、祭り等に興味関心のある全ての方	
広告結果	・ アクセス者数 7,082 人 ・ アクセス件数 21,730 人	

広告画面（一例）

4. 関係会議等への出席

(1) ㈱福島まちづくりセンターとの連携

- ① 中心市街地の空き地・空き店舗対策事業への協力
- ② 中合福島店の閉店による退店テナントの中心市街地での事業継続支援

令和 4 年度 支援店舗数 13 店

- ・ 福島商工会議所（9 店）
- ・ ㈱福島まちづくりセンター（4 店）